



田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌・平成 26 年 12 月号

# 猿ヶ石川通信

## Vol.10

- 第 1 面 トピックス 田瀬湖ウォーキング 2014 開催
- 第 2 面 ニュースファイル 川ワークショップ、ダム湖サミット、田瀬ダム一日所長体験
- 第 3 面 インタビュー 遠野ウォーキング協会事務局長：増田 光宣さん、野鳥コーナー
- 第 4 面 インフォメーション 猿ヶ石川再生ワークショップ&セミナー、自然観察会、他

### 猿ヶ石川流域トピックス



ウォーキング前に、参加者一同で記念撮影。

快晴の秋空の下  
ウォーキングに集う

11月2日(日)、田瀬湖周辺にて、「田瀬湖ウォーキング2014」が開催されました。

心配された天気も、このイベントを歓迎してくれたように、雨もおさまりウォーキング日和。集合場所である田瀬振興センター

田瀬ダム完成60周年記念プロジェクト

## 田瀬湖ウォーキング2014

### 紅葉の田瀬湖畔に210名が集い 田瀬湖周辺の名所巡りと自然を満喫する

ターには、朝早くから、花巻市や遠野市内をはじめ、岩手県内各地から参加者約210名が集いました。

#### 10kmコースは 田瀬湖の名所巡り

開会行事終了後、5kmと10kmの、2コースに分かれてウォーキングを開始。

10kmコースは、田瀬振興センターから、途中の名所を巡りながら、東和B&G海洋センターを目指します。



薬師堂を参拝する参加者達。

最初の名所は岩手県の文化財にも指定されている「薬師堂」を参拝。お堂近くの桜の木に、季節外れの花が咲いて、得をした気分になりました。その後、かつての田瀬湖の渡し船であった「第2東和丸」を見学。ドライブイン「たんせ」があった附近の仮設トイレで休憩を済ませて、いよいよ白金橋へ。ふだん歩かない吊り橋の上から、田瀬湖の景観を楽しみました。

最初の名所は岩手県の文化財にも指定されている「薬師堂」を参拝。お堂近くの桜の木に、季節外れの花が咲いて、得をした気分になりました。その後、かつての田瀬湖の渡し船であった「第2東和丸」を見学。ドライブイン「たんせ」があった附近の仮設トイレで休憩を済ませて、いよいよ白金橋へ。ふだん歩かない吊り橋の上から、田瀬湖の景観を楽しみました。



青空の下、田瀬湖畔を元気に歩く参加者。

橋を渡ると、向い田瀬地



白金橋を歩く参加者達の様子。

区の道を歩き、最後の名所である「砥森神社」へ。そこからゴールの東和B&G海洋センターまでは残りわずか。みんな元気に歩ききりました。

#### 5kmコースは 紅葉の田瀬湖を満喫

5kmコースは、田瀬振興センターからバスに乗り込み、スタート地点の東和B&G海洋センターへ。そこから、途中、砥森神社を通った後に、向かい田瀬地区の湖畔の道を田瀬ダムまで歩きます。

この道は、ほとんど車も通らず、人工物もない自然度満点のコース。左手に木陰越しに湖を眺めながら、のんびりとウォーキングを楽しみました。

## 猿ヶ石川流域ニュースファイル



水質調査手法について説明する辻先生。

### 川の調査手法のワークショップ開催

11月27日(木)、猿ヶ石川再生プロジェクトの一環として、「川の調査手法」についてのワークショップが開催されました。

講師は、岩手県立大学総合政策学部助教の鈴木正貴先生と同准教授の鈴木正生先生。参加者は田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会会員や釣り愛好家など11名が参加しました。

ワークショップ開催場所は、猿ヶ石川にかかる愛宕橋の上流部。最初に辻先生が、川の水質測定方法を紹介しました。

EC(電気伝導度)メーターという器具を川に入れて、水中に溶け込んでいる物質(イオン)の相対的な量の調べ方を説明。これは、水の汚れを大まかに把握するには簡単で、便利だそうです。この他に、パツクテストという水質の簡易分析製品もあるので、今後の調査時に、硝酸の簡易分析調査だけでもすることを勧めました。次に、鈴木先生から猿ヶ



魚類等の調査について説明する鈴木先生。

石川に棲む生きものの継続調査(モニタリング)の意義と調査手法が紹介されました。

生態系は複雑で絶えず変動しているので、継続調査をすることで、その変動の原因を推測できるのだそうです。そのためには、調査方法を統一する必要があります。魚類を対象とした場合は、網などの漁具や調査時期、調査時間、調査範囲、調査員数などの統一。また、捕獲した魚の計測も統一してデータ化することが大事だと話されました。

その後、参加者は実際に川に入り、タモ網を使って魚を捕獲。ウグイやアブラハヤの稚魚を中心に捕獲し、その種の同定や計測方法を指導いただきました。

実際の調査は来春以降となりますが、この冬の間に、調査場所を選定するワークショップを開催。また、福井県で住民が主体となり継続調査を行っている「ハスプロジェクト」の方を招いてセミナー等も予定しています。(詳細は4面参照)

### 第6回みちのくダム湖サミット in 田瀬開催

11月6日(木)、遠野市宮守町みやもりホールにて、「第6回みちのくダム湖サミット in 田瀬」が開催され、関係自治体職員その他、一般市民を含む約300名が参加しました。

サミットでは、最初に国土交通省水管理・国土保全局河川環境課流水管理室長の若林伸幸氏が「最近の



サミットでのパネルディスカッション。



会場にはビジョンの活動も展示されました。

河川環境行政の話題」と題して基調講演。その後、ダム湖を使った活動報告が3名からあり、田瀬ダム水源地域ビジョンの活動も報告されました。

休憩後は、「水・地域・人明日へつなぐ」をテーマとするサミット。岩手大学名誉教授の平山健一氏をコーディネーターに、遠野市・花巻市・秋田県仙北市・宮城県七ヶ宿町の組長をパネラーに、ダム湖を活用した地域振興や、上下流の連携等について議論されました。

### 田瀬ダム一日所長 田瀬の子どもが体験

11月22日(土)、田瀬ダム完成60周年記念事業の一環として、田瀬地区の小学



子供達は巡視船で田瀬湖へ出発しました。

校3年〜6年生までの6名が、「田瀬ダム一日管理所長体験」を行いました。子供達は、午前9時に田瀬ダム管理支所に集合すると、会議室にて田瀬ダムの完成までの経緯や役割を学習。その後、操作室に移動し、ダムの放流時に流すアナウンス放送を聞いたり、操作の仕組みについて説明を受けました。ダムの知識を学んだ後、巡視船に乗り、田瀬湖の巡視へ出発。取水塔やアココ対策の曝気装置の近くを通り、白金橋(吊り橋)付近で折り返し。子供達はいつもととは違う湖上から見ると田瀬湖の景観にとれていました。船での巡視後は、途中で採取した田瀬湖の水と水道水を比較して水質検査しました。



# 猿ヶ石川流域インタビュー



## 民話のまち遠野 ウォーキング協会事務局長

増田 光宣(ますだ みつのり)さん

昭和 23 年遠野市生まれ。小学 2 年～高卒まで釜石市在住。その後、愛知県の㈱トヨタ自工に就職。昭和 46 年に父を亡くし遠野に戻る。以後、弱電関連会社に就職し、平成 20 年に停年退職。ウォーキング開始は、平成 14 年。それ以後各種ウォーキング大会に参加し、昨年には「平成奥の細道 2000 km」、今年は「オールジャパンウォーキングカップ」の 47 都道府県を完歩した。平成 22 年より遠野ウォーキング協会事務局長を務める。

来年は田瀬湖一周も  
良いんじゃないかな

「田瀬湖ウォーキング 2014」には、遠野のウォーキング協会事務局として、実行委員会に参加させていただきました。コース選定から、下見なども重ねて。当日私は、10 km コースのリーダーを担当しました。

今回のコースで一番良かったのは、国道 107 号線から、白金橋(吊り橋)に向って行く道ですね。もちろん吊り橋も良かったですが、ほとんどの参加者は初めてあの道を通ったと思いますよ。車では行かない道ですからね。ウォーキング終了してからの帰りのバスでも、「良かった」という声が多く聞かれましたよ。アンケートでは、来年も開催を希望する声が多かったですね。田瀬湖一周を希望する声もあるようですが、それも良いと思いますよ。もちろん開催する場合は、花巻のウォーキング協会とともに、協力したいと思

ます。

歩くことは  
健康に一番ですよ

私がウォーキングを始めるきっかけは、病気になったことですね。脳の血管が詰まる脳血栓になってしまっ。それ以後、リハビリのつもりで、歩き始めたわけです。ウォーキングをしている人の中には、過去に病気をしたという人が意外に多くあるんですよ。

今では、ウォーキングはほぼ日課ですね。コースや距離はその日の気分。年間平均すると 5000 km は歩いてます。ウォーキングを始めてからは、健康診断の結果も安定していて、病気が再発することもな



大会前に田瀬湖を下見する増田さん。

く今まで来ています。

「平成・奥の細道」という、東京から平泉を通過して、青森まで行き、そこから日本海側を新潟まで歩き、最終的に大垣を経由して伊勢神宮までの 2000 km のコースがあるんですよ。平成 14 年から去年までの 11 年間で全コースを歩きました。

全国 47 都道府県も歩きましたよ。これまで印象に

残っているのは、茨城の古河。梅の花が咲く時期で、花がきれいだったなあ。ビューポイントや史跡があるコースは、魅力的ですね。その意味で、田瀬湖のコースも魅力があると思いますよ。ウォーキング大会を継続するには、地元がやる気を出すかどうかですが、せっかく好評を得た大会なので、続けた方がいいと思いますね。

### 自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥 File No. 10



コサギ(サギ科 全長:60cm)

小型のサギで、浅瀬や水田で歩きながら食べ物を探します。10 年くらい前までは多く見られましたが、ここ数年は少なくなっているように思えます。口ばしが黒く、脚の指が黄色であることから他のシラサギと区別できます。ゴアーツ、ゴアーツという鼻声で鳴きます。(写真提供:とうわ野鳥の会)

## 猿ヶ石川流域インフォメーション

1/16

### 生命豊かな猿ヶ石川を取り戻そう！ 猿ヶ石川調査ワークショップ & 猿ヶ石川再生セミナー

本誌 2 面でも紹介しましたが、来春から住民を主体に、田瀬ダム上流部(遠野市側)における猿ヶ石川の継続調査を始めたいと考えています。その調査場所や調査方法を検討するワークショップを 1 月に開催します。また 2 月には、10 年前より福井県三方五湖をフィールドに住民が主体となって魚類の継続調査を行っている「ハスプロジェクト」推進協議会事務局の関岡裕明氏を講師に、セミナーを開催します。どちらも、猿ヶ石川再生に関心がある方はどなたでも参加できますので、お気軽にご参加下さいませ。

#### ■猿ヶ石川調査ワークショップ

【日時】平成 27 年 1 月 16 日(金)13 時 30 分～15 時 30 分  
【会場】遠野地区合同庁舎 1 階 A 会議室  
【講師】鈴木 正貴 氏(岩手県立大学総合政策学部助教)  
【内容】猿ヶ石川の調査地選定と調査方法についての検討

#### ■猿ヶ石川再生セミナー

【日時】平成 27 年 2 月 21 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分  
【会場】あえりあ遠野中ホール(☎ 0198-60-1700)  
【講師】関岡 裕明氏(ハスプロジェクト推進協議会)  
【内容】13 時 30 分～14 時 00 分 プロジェクトの経過報告  
14 時 00 分～15 時 30 分 猿ヶ石川再生セミナー

【問合せ】プロジェクト事務局(☎ 0198-64-2250 千葉)

Q

川には淵がありますが、  
どんな所ですか？

川 豆 辞 典

A

「淵」とは、川の流れがゆるやかで深い所です。一般的には大きな岩のまわりや滝の下、川の曲がり角などに、水の流れの影響で川底がえぐられてできます。浸食が激しい川では、出水のたびに場所が変わることもあります。「淵」には泥や有機物が沈殿しやすいため、プランクトンや藻の繁殖が活発になり、魚類の生息に適しています。また、「淵」は夜間に魚類が寝る場所にもなっていて、更に、人間や鳥などから身を隠す貴重な場所でもあります。

1/18

とうわ野鳥の会主催の自然観察会

猿ヶ石川のカモ調査

2/15

&  
カンジキで歩くバードウォッチング

どうしても、ストーブやコタツから離れるのがおっくうになるこの季節。しかし、冬だからこそ見られる自然の美しさもあります。白銀のアウトドアで、身近な自然の素晴らしさに触れられる自然観察会に出かけませんか。

#### ■猿ヶ石川のカモ調査

【日時】平成 27 年 1 月 18 日(日)午前 8 時 30 分～12 時  
【集合】東和コミュニティセンター駐車場  
【調査場所】毘沙門橋～晴谷橋までの猿ヶ石川沿い。  
【参加費】100 円(障害保険料として)  
【持ち物】防寒着、長靴、双眼鏡(ある方)。  
【内容】猿ヶ石川にいるカモを観察し、その種類と数を調べます。昨年の調査では、7 種類、約 300 羽のカモを確認しています。野鳥の会の会員が、カモの判別方法などを教えてくれますので、野鳥に親しむには絶好の機会です。

#### ■カンジキで歩くバードウォッチング

【日時】平成 27 年 2 月 15 日(日)午前 8 時 30 分～12 時  
【集合】東和コミュニティセンター駐車場  
【観察場所】矢崎橋～落合橋までの猿ヶ石川沿い。  
【参加費】100 円(障害保険料として)  
【持ち物】防寒着、長靴、双眼鏡(ある方)。  
【内容】カンジキを見たことはあっても、実際に付けて雪の上を歩いた経験を持つ人は少ないのではないのでしょうか。このカンジキ体験をしながら、バードウォッチングを楽しみませんか。カンジキは主催者側で用意していますので、お気軽にご参加下さい。  
\*各会とも小学生以下は保護者同伴を条件とします。  
【申し込み】とうわ野鳥の会(☎ & FAX 0198-42-4725 斎藤)



冬のカプト虫ドーム(花巻市東和町)周辺の景色。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.10  
「猿ヶ石川通信」平成 26 年 12 月号  
発行日：平成 26 年 12 月 17 日  
発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会  
☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3  
☎ 0198-44-5211  
編集：一般社団法人いわて流域ネットワーク  
問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)  
E-mail:pahaya@tonotv.com

田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクトの一環で開催した「田瀬湖ウォーキング 2014」は、目標の 2000 名を超える参加者があり、天気にも恵まれ、とても素晴らしいイベントでした。準備当初から当日のリーダーまでを花巻市と遠野市のウォーキング協会が担当。また、田瀬地区民も、駐車場係や道路での誘導、美味しい豚汁調理などで活躍していただきました。上流と下流の各団体が連携を図り、地域活性化に結びつける。田瀬ダムビジョンの目指す姿が、このイベントに見えました。(千葉)

編集後記